

問い合わせ先

第十一管区海上保安本部

海洋情報調査課長 鈴木 晃

TEL 098-876-0118 (内線 2530)

平成18年6月27日

第十一管区海上保安本部

新型漂流ブイによる流況把握で迅速な海難事故対応！

～航空機からのパラシュート降下及び衛星経由での流況データ受信訓練を行います～

大規模海難事故等が発生した場合、その対応にあたっては事故船舶の位置や現場の流れを迅速かつ的確に把握することが重要ですが、陸上から遠く離れた外洋の事故では巡視船艇が海難現場へ到着し流れを把握するまでに時間を要します。

このような外洋での事故に対応し流況を把握するため、航空機から投下し通信衛星経由でデータ転送ができる漂流ブイが求められていました。

このたび、航空機から投下可能な通信衛星利用の新型漂流ブイが開発され、このブイの使用によりこれまで以上に迅速で的確な漂流予測及び搜索海域決定が可能になります。

第十一管区では、この新型漂流ブイを航空機から投下し流況を把握する訓練を下記の要領で実施します。

1 時期 平成18年7月5日(水) 予備日 7月7日(金)

2 海域 チービシ付近(別紙参照)

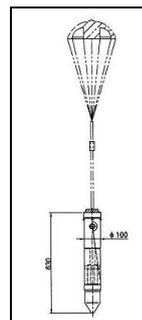
3 作業概要

- ・新型漂流ブイを航空機から投下し海面に安全に着水することを確認
- ・新型漂流ブイからのGPS位置情報が衛星を經由し管区本部で受信可能なことを確認
- ・ダミー人形(旧型漂流ブイを取り付け)を同海域に漂流させ、新型ブイとの漂流状況の違いを確認
- ・測量船「おきしお」による漂流ブイの監視と揚収

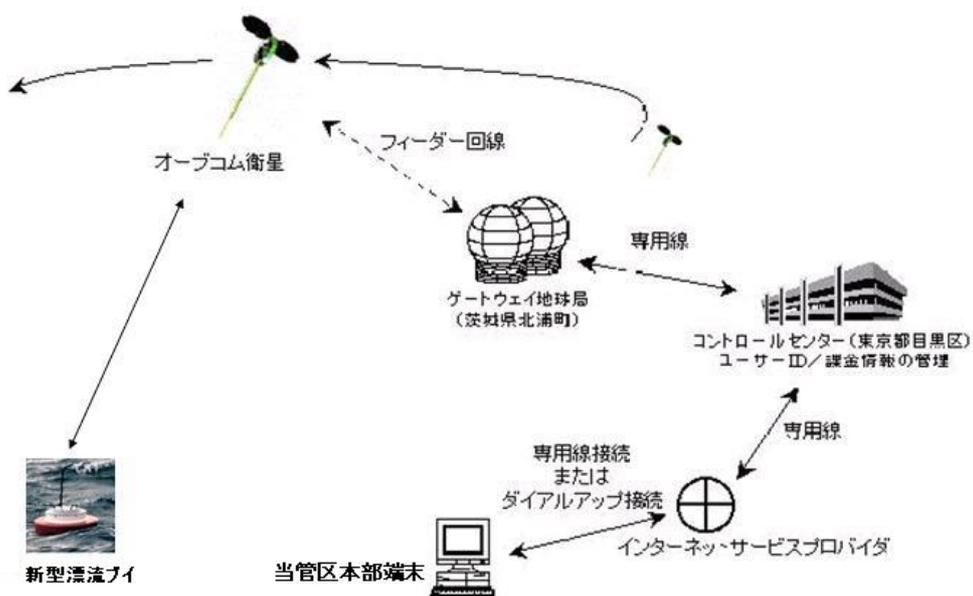
4 その他

報道関係者による撮影取材が可能です。また、希望される方には実施映像を提供しますので、上記問い合わせ先にお申し付けください。

新型漂流ブイ（投下型）



通信衛星オープンコム対応型の漂流ブイのデータ通信概念図



作業海域

